

第七編 教育・文化・宗教 図表一覧

図表 7-4-2-1 早来文化協会加盟団体表

団体名	発足年	備考
早来こぶし切り絵同好会	平成 5 年	
彩の会	昭和 6 1 年	油絵などの絵画愛好会
革工芸サークル	平成元年	
かしわ焼同好会	昭和 5 7 年	陶芸
フォト in あびら	平成元年	
ユーカリの会	平成 5 年	生け花
書道研究会早来支部	昭和 4 0 年	
安平文芸の会	平成 2 5 年	
洗心会	昭和 4 0 年	詩吟
清志民謡会	平成 4 年	
清美舞踏	平成 6 年	
民謡湧泉会	昭和 5 0 年	
早来すずらん太鼓保存会	昭和 5 5 年	
早来カラオケ同好会	昭和 5 9 年	
安平カラオケ親睦会	平成 2 年	
プリムローズ会	平成 6 年	フォークダンス
コーラス・ドルチェ	昭和 6 2 年	平成 1 8 年、遠浅合唱団を改称
緑華クラブ		

図表 7-4-2-2 追分文化協会加盟団体表

団体名	発足年	備考
追分町菊花同好会	昭和 2 6 年	
追分カメラクラブ	昭和 2 7 年	昭和 3 0 年に美術協会写真部に移行
追分ダリア同好会	昭和 3 0 年	活動期間は昭和 5 1 年まで
追分華道連盟	昭和 3 0 年	平成 2 8 年休会
追分朗吟会	昭和 4 4 年	

追分吟友会	昭和33年	琵琶の演奏、活動期間は昭和37年まで
追分土曜日会	昭和35年	蔵書購入活動、活動期間は1・2年
追分美術協会	昭和37年	
追分音楽同好会	昭和37年	活動期間は昭和39年まで
北海道写真協会追分支部	昭和38年	平成28年解散
追分芸能協会	昭和42年	
追分習字研究会	昭和43年	昭和63年、追分書道連盟に合流
追分音楽鑑賞会	昭和44年	活動期間は昭和46年まで
追分読書会	昭和44年	活動期間は昭和51年まで
ひまわりコーラス	昭和45年	
追分切手文化会	昭和51年	活動期間は平成12年まで
追分切り絵・切り紙研究会	昭和53年	活動期間は昭和61年まで
追分アマチュア無線クラブ	昭和53年	
全日本写真連盟追分支部	昭和55年	平成23年解散
追分盆栽会	昭和55年	活動期間は平成8年まで
追分俳句同好会	昭和57年	活動期間は平成10年まで
追分町書道連盟	昭和63年	
追分川柳社	平成元年	活動期間は平成18年まで
追分短歌会	平成元年	活動期間は平成11年まで
追分陶芸同好会	平成3年	平成21年、陶芸クラブに改称
追分ひさご会	平成11年	ひょうたんづくり活動、活動期間は平成18年まで

図表7-4-3-1 安平町子ども文化・スポーツ賞受賞者数

区分	文化芸術分野(個人・団体)	スポーツ分野(個人・団体)
平成19年度	1	22
平成20年度	6	6
平成21年度	5	15
平成22年度	5	11
平成23年度	6	15
平成24年度	7	7

平成25年度	3	12
平成26年度	8	13
平成27年度	7	12
平成28年度	7	9
平成29年度	9	8
平成30年度	15	9
令和元年度	11	10
令和2年度	1	6
令和3年度	6	7
令和4年度	2	4
令和5年度	2	3
令和6年度	3	4
令和7年度	10	4

図表7-4-3-2 安平町民文化賞受賞者

年度	氏名(所属・学年)	事績
平成28年度	谷口萌香(追分中学校2年)	国立科学博物館主催「植物画コンクール」に3年連続で上位入賞(文部科学大臣賞2回・国立科学博物館長賞1回)

図表7-5-2-1 安平町指定文化財

No	区分	名称	所在地	所有者	指定日	概要
1	有形	蒸気機関車 D51-320号	追分柏が丘49 番地1	安平町	平成12年11月21日	旧追分町がJR北海道より無償貸与されていた蒸気機関車。令和2年に譲渡され所有者が安平町へ変更
2	有形	蒸気機関車 D51-241号機 ナンバープレ ート	追分柏が丘49 番地1	安平町	平成12年11月21日	日本最後の貨物輸送を行ったD51-241号機の主動輪一基とナンバープレート一枚
3	有形	1890年代の軌 道レール	追分白樺2丁 目14番地	安平町	平成12年11月21日	ドイツ・イギリスに北海道炭鉄道会社が製造発注したレール2本。明治25年室蘭線の開通時を町の誕生と定めた同時期のレールとして貴重

4	有形	小型消防ポンプ車	追分本町6丁目54番地	安平消防支署追分出張所	平成12年11月21日	アメリカ、ウイルス社製造（1955年製）の小型消防ポンプ車
5	有形	火災消火腕用ポンプ	同上	同上	平成12年11月21日	民間の自衛消火として旧追分町内に残っていたものを消防の歴史を伝える物件として保存
6	有形	消防半鐘	同上	同上	平成12年11月21日	大正4年11月「御即位記念鐘」と明記された火災警鐘用とされる半鐘
7	有形	灌漑溝記念碑	追分豊栄	安平町	平成12年11月21日	大正11年に新田開発に向け工事開始、大正15年に完成。当時の苦労を記念し昭和6年建立。平成11年に現在の地に移設
8	有形	明春辺灌漑溝記念碑	追分春日	安平町	平成12年11月21日	大正7年着工、翌年完成。これを記念し大正11年に建立
9	天然記念物	ニレの大木	追分向陽	追分ファーム	平成12年11月21日	追分地区に現存する最も太い大木。推定樹齢300年
10	史跡	教育発祥の地	追分本町3丁目7番地	豊原藩	平成12年11月21日	明治26年、町の有志により寺子屋方式による子ども達の教育が始まった場所
11	史跡	学校施設建設の地	追分本町1丁目	小西正幸 北海道	平成12年11月21日	明治27年に苫小牧尋常小学校植苗分校として創立。明治35年に移転するまで学校があった場所
12	史跡	北海道炭鉱鉄道骸炭所（コークス工場跡）	追分白樺1丁目（白樺公園内）	安平町	平成12年11月21日	明治34年、当時は東洋一の規模を誇るコークス工場が建設。翌年よりコークスの製造が開始された場所
13	史跡	追分機関区跡地	追分白樺2丁目	安平町	平成12年11月21日	明治25年追分停車場線の開業と同時に機関区が置かれた。北海道の中でも5本の指に入る重要な拠点として役割を果たした場所
14	史跡	日本最古の指定の保健保安林	追分白樺2丁目	安平町	平成12年11月21日	明治35年に指定。日本最古の保健保安林となる貴重な森林
15	史跡	郵便局の始まりの地	追分本町1丁目	JA追分支所	平成12年11月21日	明治29年、現在のJA追分支所の付近に追分郵便局が開設
16	有形	木造サイロ	遠浅730番地2	山田 羔	平成16年5月27日	日本最古の木造サイロとして70年以上歳月が経ち、歴史的価値がある。老朽化により解体したため平成27年11月27日指定解除

17	有形	石倉	早来大町 20 番地	末平 正幸	平成 20 年 12 月 25 日	米倉庫として大正 15 年頃建造。組積造により石を積み重ねた。北海道胆振東部地震により倒壊したため令和元年 3 月 28 日指定解除
18	有形	石倉	早来大町 21 番地	小林 正道	平成 20 年 12 月 25 日	昭和 8 年基礎工事をし翌年建造完了。建造目的は雑穀貯蔵のためであるが、戦時中は軍需品を一時保管。現在は木炭倉庫として使用
19	有形	開拓の碑(早来町開基の地)	早来富岡 224 番地	安平町	平成 20 年 12 月 25 日	佐々木駒吉が農耕放牧地としてフモンケの開拓を志し、明治 22 年秋に約 50 町歩の払下げの許可を受け開墾
20	有形	水田発祥の地(記念碑)	安平 323 番地	安平町	平成 20 年 12 月 25 日	支安平川と明春辺川の交わる北側の場所。明治 26 年鳥取県人布広奎太郎が単身この地に踏込み水田耕作に成功したことを記念し昭和 44 年 9 月建立
21	史跡	富士酒造合名会社の跡地	早来大町 127 番地	山田 芳久	平成 20 年 12 月 25 日	明治 28 年に高橋久松が「高橋酒造所」を開業。昭和 17 年企業整備会の公布によって「早来酒造」と合併して室蘭酒造株式会社早来工場となり、昭和 22 年山田武雄が独立し早来酒造合名会社、昭和 27 年に富士酒造合名会社となる
22	有形	勇払電灯株式会社跡	早来大町 34 番地-1	有限会社 自然地所	平成 20 年 12 月 25 日	大正 8 年 7 月資本金 10 万円をもって「勇払電灯株式会社」を設立。昭和 15 年 4 月日高電灯株式会社と合併して閉鎖。その後、昭和 20 年開院の小熊医院として再利用された。北海道胆振東部地震により倒壊したため令和元年 3 月 28 日指定解除
23	有形	瑞穂開拓記念碑	早来瑞穂 1211 番地	安平町	平成 20 年 12 月 25 日	明治 27 年入植以来苦難の開墾を続たことを記念し昭和 44 年 9 月建立
24	有形	緑丘開拓の碑	早来緑丘	安平町	平成 20 年 12 月 25 日	昭和 8 年民有未墾地創設地として開放を受けてから開拓 10 周年を記念し昭和 17 年 9 月建立
25	有形	記念碑	早来北進 92 番地 9(旧早来中学校)	安平町	平成 20 年 12 月 25 日	旧早来中学校卒業生橋本聖子の北海道教育実践表彰受賞(昭和 58 年度)およびサラエボオリンピック出場(昭和 59 年)を記念し昭和 59 年 9 月建立
26	有形	名馬テンポイント号記念碑	早来富岡 406 番地	吉田 晴雄	平成 20 年 12 月 25 日	昭和 53 年 10 月建立。昭和 51 年のダービーで前足骨折着外になるなど悲運がつきまとう。昭和 52 年春の天皇賞、暮れの有馬記念を制し日本一の座についたが、昭和 53 年 1 月左後足を複雑骨折、競馬会史上初の大手術を行ったが死去した
27	有形	チーズ発祥の	遠浅 125 番地	安平町	平成 20 年 12 月 25 日	日本初の本格的なチーズ工場が昭和 8 年に建設され、工場生産として

		地記念碑	1			は日本における「チーズ発祥の地」
28	史跡	三井物産専用馬車鉄道の跡			平成 27 年 11 月 27 日	三井物産合名会社により、鉄道枕木その他木材搬出目的で早来停車場から厚真村字チケッペ（現在の本郷）まで約 6.5 km の馬車鉄道を敷設し明治 37 年 12 月に竣工。その後、振老（現在の厚真市街）まで 1.6 km 延長された。昭和 6 年のガソリン車導入により馬車鉄道が廃止。戦後の自動車工業の発達により昭和 24 年に敷設以来 45 年の歴史を有す軌道が撤去
29	有形	聖恩の碑	遠浅 766 番地 2 ほか	遠浅酪農組合	平成 27 年 11 月 27 日	昭和 5 年に、空知管内滝川産乳組合を中心に、現在の遠浅地区へ集団移住開始。火山灰地に苦労したがトラクター導入により約 1,180ha を開墾。ダニ熱という風土病により多くの牛が死に、出荷する牛乳も輸送中に腐敗して送り返されるなど苦労が多かったが、地道な経営を続け、先の見通しが立ち、昭和 11 年 10 月 3 日に「不毛の火山灰地を開拓し酪農郷を建設した」として、遠浅酪農部落に天皇勅使が差し遣わされた栄誉を記念し昭和 11 年 11 月建立（佐上信一北海道庁長官の書）
30	有形	遠浅酪農更生の誓		遠浅酪農組合	平成 27 年 11 月 27 日	昭和 13 年作成。昭和 5 年に、空知管内滝川産乳組合を中心に、現在の遠浅地区へ集団移住が開始され、酪農の町として現在全国的に著名となるに至った素因となる。当時は林業に代わる産業の誘致で集団移住し遠浅酪農開拓事業が始まったが、火山灰地の開墾に苦労し、また、ダニ熱による牛の死や、不況による乳価の下落、凶作などで多額の負債を背負い生活は大変苦しかった。その様な中で、昭和 13 年に組合員らで「遠浅酪農更生の誓」をたて、あらゆる困苦欠乏に耐えこの苦境を乗り越え、初志を貫徹することを誓い、各自これに署名し、以来五年間にわたる更生計画を樹立した
31	有形	瑞雲寺本堂・薬師堂	早来栄町 49 番地	瑞雲寺	令和 2 年 3 月 25 日	瑞雲寺は開祖者・前谷慧光により明治 29 年、現在地に布教所を開設した。明治 39 年、人口の増加に伴いそれまでの建物では手狭になったため本堂の建替えを発願し、地固め作業を開始した。信徒や信徒以外の地域住民の寄付もあり、明治 41 年 8 月 1 日に落成した。安平町黎明期における貴重な歴史的建造物

図表 7-5-2-2 指定解除の文化財

No	区分	名称	所在地	所有者	解除年月日	指定年月日	解除理由
1	有形	木造サイロ	遠浅 730 番地 2	山田 羔	平成 27 年 11 月 27 日	平成 16 年 5 月 27 日	老朽化により維持管理が困難になったため
2	有形	石倉	早来大町 20 番地	末平英一	令和元年 3 月 28 日	平成 20 年 12 月 25 日	北海道胆振東部地震により倒壊したため
3	有形	勇払電灯株式会社跡	早来大町 34 番地-1	小熊セツ	令和元年 3 月 28 日	平成 20 年 12 月 25 日	北海道胆振東部地震により倒壊したため

図表 7-6-1-1 安平町民スポーツ賞受賞者

年度	氏名(所属・学年)	事績
平成 18 年度	中村駿佑 (早来中学校 3 年)	第 27 回全国中学校スピードスケート競技会男子 500m 優勝、男子 1000m 優勝
	富岡峻也 (早来中学校 3 年)	第 27 回全国中学校スピードスケート競技会男子 3000m 優勝、男子 5000m 優勝
	荒木梨沙 (早来中学校 1 年)	第 41 回全日本選抜スピードスケート競技会女子 5000m 優勝
	中村卓也 (早来ジュニオール指導者)	長年にわたり早来ジュニオール所属選手を養成し、第 27 回全国中学校スピードスケート競技会で極めて優秀な成績を収めた功績
平成 19 年度	中村奨太 (早来中学校 2 年)	第 28 回全国中学校スピードスケート競技会男子 1500m 優勝
	安平町立早来中学校スピードスケート部	第 28 回全国中学校スピードスケート競技会学校対抗女子優勝、学校対抗男子 4 位
平成 21 年度	中村隼人 (早来中学校 2 年)	第 30 回全国中学校スピードスケート競技会男子 1500m 優勝、男子 3000m 優勝
	高山瑞穂 (早来中学校 1 年)	第 30 回全国中学校スピードスケート競技会女子 1500m 優勝、女子 3000m 優勝
	安平町立早来中学校スピードスケート部	第 30 回全国中学校スピードスケート競技会学校対抗女子優勝 (3 連覇)、学校対抗男子 4 位
平成 22 年度	工藤鴻 (追分中学校 3 年)	第 12 回日本ジュニアトライアスロン選手権長良川大会ジュニア選手権 A (U15) 優勝
平成 23 年度	近藤 太郎 (駒澤大学附属苫小牧高校 2 年)	第 61 回全国高等学校スケート選手権大会男子 1500m 優勝
	高山 菜摘 (駒澤大学附属苫小牧高校 1 年)	第 61 回全国高等学校スケート選手権大会女子 1000m 優勝
	池田千奈美 (駒澤大学附属苫小牧高校 3 年)	第 67 回全国国民体育大会冬季大会スピードスケート競技少年女子 3000m 優勝
平成 26 年度	楠木貴成 (ノーザンホースパーク)	第 17 回アジア競技大会韓国仁川開催馬術競技総合馬術団体銀メダル
令和 3 年度	三浦芽依	第 24 回オリンピック冬季競技大会中国北京開催アイスホッケー女子日本代表第 6 位
令和 4 年度	編田久乃	第 37 回北海道マスターズ陸上競技選手権大会男子砲丸投 (M100 クラス) 優勝、男子円盤投 (M100 クラス) 優勝

図表 7-6-1-2 部活動の地域クラブ移行表

追分中学校	早来学園	地域クラブ
陸上部	陸上部	厚真スローイングチーム安平支部／厚真陸上クラブ
野球部	野球部	安平ベースボールクラブ
バレーボール部	バレーボール部	早来アクティブ／ABIRA Volleyball Club
剣道部		追分剣道スポーツ少年団
ソフトテニス部		あびらソフトテニスクラブ

図表 7-6-3-1 早来町の年間スポーツイベント

開催月	イベント
1	早来町卓球大会（町民卓球の集い）、小中学生スケート交歓記録会兼橋本聖子杯争奪スケート大会（平成 19 年）
2	早来町民の森歩くスキーの集い（昭和 61 年、1 月の場合もあり）、会長杯バトミントン大会（平成 8 年）、富岡オープンボーリング大会（平成 8 年）、早来町 6 時間水泳リレーマラソン（平成 12 年）
3	町内ミニバレーボール大会（昭和 57 年）、はやきたウィンターフェスティバル（昭和 58 年）、早来町アイスゲット大会（平成 8 年）
5	早来野球連盟（12 チーム加盟）会長杯争奪野球大会（平成 3 年より「ナイター野球大会」と改称し、6 月上旬から 8 月にかけて行う）
6	町民歩く運動の集い（平成元年 6 月、樽前登山、7 月の場合もあり）、春季自治会対抗野球大会、町長杯野球大会、サイクリングの集い、春の町民軟式テニス大会、遠浅地区交流ゲートボール大会（平成 3 年）、ホスピタリティ早来ペタンク選手権大会（平成 12 年）
7	公民大学大運動会、ペタンク大会（平成 6 年、9 月・11 月の場合もあり）
8	町民ゲートボール大会（昭和 56 年、秋のゲートボール大会として 9 月開催）、自治会対抗少女ソフトボール大会（平成 3 年）、ふれあい運動会（小学生対象）、老人スポーツ大会（昭和 54 年、平成 7 年から「高齢者スポーツ大会」と改称）、かんぼ健康増進ゲートボール大会（平成 8 年）
9	自治会子ども会対抗相撲大会（昭和 60 年、早来神社祭の行事）、町民ゴルフ大会（平成 4 年）、子ども会対抗少年野球大会、秋季自治会対抗野球大会、町長杯争奪ゴルフ大会（平成 6 年、10 月の場合もあり）、高齢者ゲートボール大会（昭和 57 年）、町民ペタンク大会（平成 7 年）
10	町民綱引き大会（平成元年〔開基 100 年記念〕、11 月の場合もあり）、健康マラソン大会（昭和 56 年）、町内女子ソフトボール大会（昭和 55 年、7 月の場合もあり）、秋の町民軟式庭球大会、早来町駅伝競走大会（昭和 42 年）、町内職域ソフトボール大会（平成 3 年）、町内少年野球大会（昭和 55 年）、秋のゲートボール大会、健康推進委員会大綱パークゴルフ大会（平成 7 年）、町民皆スポーツバトミントン大会（平成 6 年）
11	町内バレーボール祭り（昭和 57 年、12 月の場合もあり）、富岡地区ミニバレーボール大会（平成 3 年）、自治会親善バレーボール大会（別称自治会対抗バレーボール大会）、町民ふれあいミニバレーボール交流会（11 月 28 日～12 月 9 日のロングラン形式、平成 6 年）、自治会対抗少年少女ミニサッカー大会（平成 11 年）

図表 7-6-3-2 オリンピック大会の成績

開催年	出場選手	大会競技	成績
昭和 59 年	橋本聖子	第 14 回冬季五輪サラエボ大会(女子スピードスケート競技)	11 位 (500m)、12 位 (1000m)、15 位 (1500m)、19 位 (3000m)
昭和 63 年	橋本聖子	第 15 回冬季五輪カルガリー大会 (女子スピードスケート競技)	5 位 (500m)、5 位(1000m)、6 位(1500m)、7 位(3000m)、6 位(5000m)
	橋本聖子	第 24 回夏季五輪ソウル大会 (女子自転車競技)	10 位予選敗退 (個人スプリント)
平成 4 年	橋本聖子	第 16 回冬季五輪アルベールビル大会(女子スピードスケート競技)	銅メダル(1500m) 12 位(500m)、5 位(1000m)、12 位(3000m)、9 位(5000m)
	橋本聖子	第 25 回夏季五輪バルセロナ大会(女子自転車競技)	11 位(3000m個人追抜)、予選敗退 (個人スプリント)
平成 6 年	橋本聖子	第 17 回冬季五輪リレハンメル大会(女子スピードスケート競技)	9 位 (1500m) 6 位 (3000m)、8 位 (5000m)
平成 8 年	橋本聖子	第 26 回夏季五輪アトランタ大会(女子自転車競技)	9 位 (24000mポイントレース)、12 位 (3000m個人追抜)
平成 30 年	中村奨太	第 23 回冬季五輪平昌オリンピック大会 (男子スピードスケート競技)	24 位(1500m)、5 位 (団体追い抜き)、未出場 (マススタート)
令和 4 年	三浦芽依	第 24 回冬季五輪北京オリンピック大会 (女子アイスホッケー競技)	6 位 (日本代表)
令和 8 年	三浦芽依	第 25 回冬季五輪ミラノ・コルティナ大会 (女子アイスホッケー競技)	9 位予選敗退 (日本代表)

図表 7-6-3-3 橋本聖子の大会競技成績

年月日	大会競技	成績
昭和 59 年 2 月 9 日～11 日	第 14 回冬季五輪サラエボ大会 (500m、1000m、1500m、3000m)	11 位、12 位、15 位、19 位
昭和 63 年 2 月 13 日～28 日	第 15 回冬季五輪カルガリー大会 (500m、1000m、1500m、3000m、5000m)	5 位、5 位、6 位、7 位、6 位
昭和 63 年 9 日～10 月	第 24 回夏季五輪ソウル大会 (自転車競技)	10 位予選敗退
平成 2 年 2 月 10、11 日	スピードスケート女子選手権(カナダ・カルガリー)	総合 2 位
平成 2 年 3 月 9 日～14 日	第 2 回アジア競技大会(札幌)	1 位(4 種目)
平成 4 年 1 月 10、11 日	第 18 回全日本スプリントスピードスケート選手権大会	総合優勝(10 度目)
平成 4 年 2 月 12 日	第 16 回冬季五輪アルベールビル大会(1500m、500m、1000m、3000m、5000m)	3 位、12 位、5 位、12 位、9 位
平成 4 年 7 月 25 日～8 月 9 日	第 25 回夏季五輪バルセロナ大会(自転車競技)	11 位(予選敗退)

平成5年12月17、18日	第62回全日本選手権大会	総合優勝(12度目)
平成6年2月12日	第17回冬季五輪リレハンメル大会(3000m、1500m、5000m)	6位、9位、8位
平成8年7月19日～8月4日	第26回夏季五輪アトランタ大会(女子3000m、女子24000mポイントレース)	12位、9位

図表7-6-3-4 追分町の年間スポーツイベント

開催月	イベント
1	職場地域対抗卓球大会(昭和63年、10月の場合もあり)、町内剣道大会(平成9年、小中高生対象)、雪上パークゴルフ場(平成12年1月10日から、柏ヶ丘球場で初開催)
2	町民スキー大会(昭和21年)、町民雪中運動会(昭和53年、昭和63年にスノーフェスティバルと改称)、職場地区別ミニバレーボール大会(平成7年、男女別で行われる)、町内ミニバレーボール大会(昭和56年)、農村地区軽スポーツ大会(平成8年2月、グランドゴルフ)、雪上パークゴルフ大会(平成13年2月10日)
5	追子連子ども大会(昭和52年)、第2日曜日は「体力づくりの日」、町体力づくり推進協議会主催「歩こう走ろう会」(平成7年5月14、「歩こう会」の名称で継続(秋が「歩こう食べよう会」))
6	追分町ゲートボール同好会大会(昭和61年)
7	老人スポーツ大会(昭和53年、平成5年より「高齢者スポーツ大会」と改称)
8	町民運動大会(平成31年)、町民ラジオ体操会、農村ソフトボール大会(昭和59年)、アサヒメロンカップ百歳テニス追分大会(昭和62年、6月・9月・10月の場合もあり)
9	職場対抗男子ソフトボール大会(11月の場合もあり)、地区別対抗女子ミニバレーボール大会(12月の場合もあり)
10	町民歩こう走ろう会(昭和52年、5月の場合もあり、平成3年秋より「歩こう食べよう会」に改称)、町民登山会、町民バレーボール大会(平成8年10月)
11	町民綱引き大会(昭和60年)、カービング大会(平成8年11月)
9~12	ロングランミニバレー大会(平成12年9月)

図表7-6-3-5 安平町の年間スポーツイベント

開催月	イベント
1	バレーボールまつり(平成19年、高校生以上、早来で行われていたのを全町レベルで行う)、安平町小中学生スケート記録交歓会兼橋本聖子杯争奪スケート大会(平成19年、安平町スケート協会)
2	安平町雪上パークゴルフ大会(追分、柏ヶ丘)、町民歩くスキーの集い(遠浅歩くスキー同好会、遠浅地区と早来地区)、町内ミニバレーボール大会(追分小)、安平町追分地区ミニバレーボール大会(平成19年)、町民ゲートボール大会(平成19年、多目的スポーツセンター)、子どもチャレンジ塾(屋外)(平成24年)、アビーインターフェス(令和6年)

3	安平町アイスゲット大会（平成19年）、テニポン大会（平成19年、テニス+卓球）、アングスカップフットサル大会（平成18年）、ABIRA ミクニカップキッズアイスホッケー大会（平成19年、小学三年以下対象）、フットサル大会（早来研修センター）
5	歩こう会(追分地区、平成19年に2年ぶりに実施) ※昭和52年に「体力づくりの町」宣言をした追分町が毎年5月第2日曜日実施、平成10年から各地区振興会がコースを設定し実施 春季町民パークゴルフ大会（令和7年）
6	ノーザンホークスパークマラソン（平成23年）、早来スマイルカップ（平成14年）、町民パークゴルフ大会（平成19年、ときわ公園）
7	高齢者スポーツ大会（6日は早来地区、13日は追分地区）、町民パークゴルフ大会（ときわ公園、ときわキャンプ場のゴルフ場、早来）、安平町杯野球大会（ときわ球場、早来中、早来小）
8	職場地区別等対抗ソフトボール大会（柏ヶ丘球場、予備にときわ球場）、町民ラジオ体操会（町体力づくり推進協議会、追分・早来地区に分かれて行う）、あびらスマイルカップ（平成15年、小学生対象のサッカー、早来）、チャリティー野球n ABIRA（平成21年）
9	秋季町民パークゴルフ大会（平成24年、追分）、安平町誘致企業会主催チャリティゴルフ大会（平成5年、平成23年にはジュニアゴルフ教室開催）、プールフェスティバル（平成22年）、安平町小中陸上記録会（平成18年）
10	町民ペタンク大会（町民スケートリンク）、林間マラソン大会（ファミリー向け）、チームあびら地域間交流スポーツ大会「パークゴルフ大会」（木のサイロパークゴルフ場）、安平町長杯争奪秋季町民グラウンドゴルフ大会（令和7年）
11	町民ふれあいミニバレーボール大会（早来で行われていたもの、平成18年に合併後初めて実施、主催は早来ミニバレー協会）、町長杯小学生アイスホッケー大会（平成9年、せいこドーム）、自治会対抗少年少女ミニサッカー大会（平成11年）
12	安平町6時間スイム&ウォーキングリレー（平成11年、早来）、子どもチャレンジ塾（屋内）（平成20年）、教育長杯争奪グラウンドゴルフ大会（令和7年）

図表7-6-3-6 全国大会優勝者

年度	氏名(所属・学年)	事績
平成18年度	中村駿佑（早来中学校3年）	第27回全国中学校スピードスケート競技会男子500m優勝、男子1000m優勝
平成18年度	富岡峻也（早来中学校3年）	第27回全国中学校スピードスケート競技会男子3000m優勝、男子5000m優勝
平成18年度	荒木梨沙（早来中学校1年）	第41回全日本選抜スピードスケート競技会女子5000m優勝
平成18年度	安平町立早来中学校スピードスケート部	第27回全国中学校スピードスケート競技会学校対抗男子優勝（3連覇）
平成19年度	中村奨太（早来中学校2年）	第28回全国中学校スピードスケート競技会男子1500m優勝
平成19年度	安平町立早来中学校スピードスケート部	第28回全国中学校スピードスケート競技会学校対抗女子優勝
平成20年度	安平町立早来中学校スピードスケート部	第29回全国中学校スピードスケート競技会学校対抗女子優勝（2連覇）
平成21年度	中村隼人（早来中学校2年）	第30回全国中学校スピードスケート競技会男子1500m優勝、男子3000m優勝
平成21年度	高山瑞穂（早来中学校1年）	第30回全国中学校スピードスケート競技会女子1500m優勝、女子3000m優勝

平成 21 年度	安平町立早来中学校スピードスケート部	第 30 回全国中学校スピードスケート競技会学校対抗女子優勝（3 連覇）
平成 22 年度	工藤鴻（追分中学校 3 年）	第 12 回日本ジュニアトライアスロン選手権長川大会ジュニア選手権 A（U15）優勝
平成 23 年度	近藤 太郎（駒澤大学附属苫小牧高校 2 年）	第 61 回全国高等学校スケート選手権大会男子 1500m 優勝
平成 23 年度	高山 菜摘（駒澤大学附属苫小牧高校 1 年）	第 61 回全国高等学校スケート選手権大会女子 1000m 優勝
平成 23 年度	池田千奈美（駒澤大学附属苫小牧高校 3 年）	第 67 回全国国民体育大会冬季大会スピードスケート競技少年女子 3000m 優勝
平成 27 年度	狩野 周（早来中学校 2 年・苫小牧支部）	第 44 回全国支部将棋対抗戦・支部将棋名人戦全国大会優勝
令和元年	米津 碧海（早来中学校 3 年・苫小牧選抜）	第 13 回全日本少年アイスホッケー大会優勝
令和 3 年	佐藤 永基（東洋大学）	第 94 回日本学生氷上競技選手権大会アイスホッケー競技会優勝
令和 3 年	米津 碧海（駒澤大学附属苫小牧高校）	第 71 回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会優勝
令和 4 年	大橋 玲奈（株NTS ロジ）	全日本カヌーマラソン選手権大会兼 2022 海外派遣選手選考会優勝
令和 4 年	木戸 翔太（北海道栄高校 3 年）	第 5 回 W・KO ジャパンアスリートカップ大会（高校男子の部）優勝
令和 4 年	木戸 翔太（北海道栄高校 3 年）	第 10 回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会（高校男子重量）優勝
令和 5 年	米津 碧海（東洋大学 2 年）	第 96 回日本学生氷上競技選手権大会（アイスホッケー）優勝
令和 5 年	佐藤 永基（東洋大学 4 年）	第 96 回日本学生氷上競技選手権大会（アイスホッケー）優勝
令和 5 年	三浦 桃佳	第 43 回全日本女子アイスホッケー選手権大会優勝
令和 5 年	藪中 海皇（富士大学 4 年）	第 47 回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント優勝
令和 6 年	米津 碧海（東洋大学 2 年）	第 97 回日本学生氷上競技選手権大会（アイスホッケー）優勝

〔安平町民スポーツ賞受賞者・スポーツ大会参加助成対象者等から抽出〕

図表 7-7-1-1 蔵書数の変遷

年度	冊数	一人当たりの蔵書数	人口
平成 17 年度	早来 29,440 冊・追分 13,088 冊	4.4 冊（早来 5.4 冊・追分 3.3 冊）	9,402 人（早来 5,421 人・追分 3,981 人）
平成 22 年度	早来 34,955 冊・追分 13,587 冊	5.6 冊	8,726 人
平成 27 年度	早来 39,424 冊・追分 18,465 冊	7.1 冊	8,148 人
令和 2 年度	早来 35,455 冊・追分 19,545 冊	7.3 冊	7,522 人
令和 6 年度	早来 40,182 冊・追分 21,687 冊	8.5 冊	7,286 人

図表 7-7-2-1 スポーツ関連諸施設

種別	施設名（建設年）	所在地	施設の概要
球場・プール	柏が丘球場（昭和 58 年）	追分柏が丘 4 9 番地 1 0	両翼 91m、センター120m、150 名収容観客スタンド、夜間照明灯完備。 1 月～2 月は野球場内に雪上パークゴルフ場を開設
	追分プール（昭和 58 年に追分小に町営プールとして開設）	追分柏が丘 2 2 番地	25m×5 コース、幼児用プール
スキー場・パークゴルフ場	安平山ろく交流センター（平成 3 年）	追分豊栄 1 9 5 番地 2	安平山スキー場や安平山パークゴルフ場の使用受付や休憩、交流の場
	安平山スキー場（昭和 11 年まで遡るが、昭和 51 年に実質的に追分町のスキー場となり、昭和 55 年に正式開設）	追分豊栄 1 9 3 番地	初級者から上級者向けコースまでコースがレイアウトされ、無料のソリコースもある。
	安平山パークゴルフ場（令和元年）	追分豊栄 1 9 5 番地 2	5 コース（コース A、B、C、D、E） 45 ホール、公益社団法人 日本パークゴルフ協会の認定コース
	佐藤観光農園パークゴルフ場（平成 10 年）（令和 7 年現在閉鎖）	早来北進 3 9 番地 1	36 ホール
	佐藤冬季室内パークゴルフ場（平成 12 年）	早来北進 3 9 番地 1	27 ホール。室内パークゴルフ場
	ファミリーパークゴルフ追分（令和 7 年現在閉鎖）	追分旭 6 4 8 番地	72 ホール
	鹿公園パークゴルフ場（平成 22 年）	追分白樺 2 丁目 3 番地 1	18 ホール
ゲートボール場	しののめゲートボール場（平成 10 年）	早来大町 1 0 3 番地	1433 m ² 、現在はゲートボール場ではなく、安平町しののめ交流館（砂付人工芝・多目的活動室）として利用
合宿所	しらかば合宿所（平成元年度・3 年度増築）	早来大町 1 5 6 番地 1	しらかば合宿所の前身は早来町スポーツ合宿所で、宿泊部屋 8 室・約 35 人収容、平成 25 年 4 月に安平町スポーツ合宿所から改称された。令和 6 年度の町民センター改修により合宿機能が統合され廃止
	さかえ合宿所（平成 2 4 年改修）	早来栄町 1 3 3 番地 1 0	平成 24 年度に旧胆振東部農業開発事業所職員詰所を改修し、さかえ合宿所として活用、宿泊部屋 17 室・約 48 人収容。令和 6 年度の町民センター改修により合宿機能が統合され廃止
	早来公民館（町民センター）合宿所（令和 6 年改修）	早来北進 1 0 2 番地 4	令和 6 年度に早来公民館の耐震化改修工事を実施し、しらかば合宿所・さかえ合宿所・早来研修センターの機能を集約、宿泊部屋 20 室・52 人収容で避難所機能も有する。

その他	多目的スポーツセンター(平成5年)	追分中央1番地49	四季を通じて利用できる屋内運動場。町内スポーツ団体の活動拠点として、多くの町民が利用。広さは、ゲートボール2面分(テニスコート1面分)
	ときわ総合運動公園 ・ときわ球場(昭和59年) ・屋外スケートリンク(昭和55年) ・スポーツセンター「せいこドーム」(平成5年) ・町民プール(平成9年) ・パークゴルフ場(平成10年) ・体育館(令和7年、町民センター内)	早来北進102番地5	昭和51年より運動公園として整備に着手 ・両翼94m、センター108m、夜間照明灯完備 ・400m標準ダブルトラック、夜間照明等完備 ・早来出身のオリンピック選手である橋本聖子にちなんで”せいこドーム”と名づけられた。 ・25m×5コース、中プール、幼児用プールを有する。 ・大ホールとしても利用可